

決 議

我が国の医療は、岐路に立たされている。

安倍政権は、新三本の矢として、「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」を掲げているが、経済政策を最優先し、社会保障の削減を次々と断行している。さらに、TPP大筋妥結、患者申出療養による保険外併用療養の拡大等により、国民皆保険制度は空洞化の危機にある。

国家の発展には、国民の健康が不可欠であり、社会保障と経済発展は、両輪でなくてはならない。そのためには、世界に誇る国民皆保険制度を名実ともに堅持することが必要である。

我々医師は、国民の生命と健康を守るため、左記の事項を強く要望する。

記

- 一、いつでも、どこでも、誰もが安心して医療を受けられる「国民皆保険制度」を堅持せよ。
- 一、混合診療の全面解禁につながる保険外併用療養の拡大は容認できない。
- 一、医療に係る消費税問題の抜本的解決を求める。
- 一、受診抑制を来たさぬよう患者自己負担の軽減を求める。
- 一、地域医療提供体制への悪影響を及ぼさぬ地域医療構想、新専門医制度を構築せよ。

右、決議する。

平成二十七年十一月二十八日

第一二〇回札幌市医師会臨時代議員会